日本種苗新聞

発行 株式会社日本種苗新聞
所 〒400-0047 甲府市徳行4-14-22
電話 055-235-7329
FAX 055-237-5751
振替 00460-8-358
E-mail info@seed-news.co.jp

大阪の『食』で討論会

13種苗業社 自信の野菜類を出品

来場者に出品野菜の試食をすすめる種苗会社社員

青果育種研究会（会長・宮本修東京青果専務取締役）は7月10日、大阪市中央卸売市場東部市場で東果大阪株式会社の協力を得て、平成24年度第139回品種見本市を開いた。日本を代表する種苗業13社と資材業1社が出展した。幕開けはセミナーでパネルディスカッションが行われた。

テーマは「大阪が求める『食』と、他地方が求める『食』の徹底比較」。パネリストは、ねぎ焼き・お好み焼福太郎の中西保夫店主、主婦っとサーベイの伯井怜子主宰、鶴見花きの増田富洋社長の3人。

それぞれ持ち味出す

中西店主は大阪だけでなく、東京・スカイツリー内にも出店している。伯井主宰は、大阪を中心にあちこちのスーパーをレポートする目効き。増田社長は花き・青果両市場のマーケティングが得意。

それぞれ大阪の「食」を踏まえながら、幅広い視野に基づく3人の意見や説明に、参加者たちは熱心に聴き入った。特にマーケティングを通して新たな可能性を開拓しようとする3人の姿勢に打たれ、セミナー終了後も意見交換し合う参加者の姿が目立った。

品質と味をPR

種苗業13社と資材会社はそれぞれ自社種苗、資材のPRに力を入れた。各社いずれも品質と味、日持ちなどに自信のあるもの揃い。見本市会場となった東部市場・青果棟2階の大ホールは大にぎわい。

営業マンもブリーダー

青果育種研 見本市

も、参加者の質問に答えるだけでなく、料理法を含め、おいしく食べる工夫まで詳しく紹介し売り込みを図っていた。

出展会社と品目名は次の通り。

▽渡辺採種場、みかど協和、サカタのタネ、タキイ種苗（トマト）▽トキタ種苗、パイオニアエコサイエンス（ミニトマト）▽渡辺採種場、ナント種苗、トキタ種苗、みかど協和（カボチャ）▽タキイ種苗、サカタのタネ、大和農園、トキタ種苗、カネコ種苗（キュウリ）▽カネコ種苗（ズッキーニ）▽大和農園、八江農芸、渡辺採種場（ナス）▽八江農芸（ニガウリ）▽タキイ種苗（ピーマン）▽みかど協和（ダイコン）▽雪印種苗（ミニダイコン）▽雪印種苗、パイオニアエコサイエンス（コーン）▽八江農芸（ネギ）▽雪印種苗（エダマメ）▽雪印種苗（インゲン）▽雪印種苗、トキタ種苗、渡辺採種場、カネコ種苗（キャベツ）▽横浜植木（レタス）▽タキイ種苗（ホウレンソウ）▽トキタ種苗（イタリア野菜）▽萩原農場、みかど協和、ナント種苗、大和農園（スイカ）▽八江農芸、横浜植木、ナント種苗（メロン）▽住友ベークライト（鮮度保持フィルム）